

# 教育だより

町では、国際理解教育の一環として、平成5年からオーストラリア・プリズベンのアスコット小学校と交流を始め、今回で11回目になります。今年度は、6月28日から7月6日の9日間、12名の小学生が三芳町を訪れました。日本の学年で5・6年生にあたり、学校では日本語も勉強しています。

アスコット小学校の子どもたちとの交流の思い出をご紹介します。

日程表の内の番号は、写真裏面を示します。

- 6月28日(月) 三芳町役場に到着
- 29日(火) ホストファミリーと対面
- 唐沢小学校を訪問①
- 歓迎会②④
- 剣道体験(希望者)⑤
- 30日(水) 藤久保小学校を訪問⑥
- 歴史民族資料館にてかまどでの炊飯体験⑦
- 7月1日(木)・2日(金) デイズニールランド
- 3日(土)・4日(日) 都内巡り
- 3日(土)・4日(日) ホストファミリーと過ごす
- 広源寺の見学(3日(土)・希望者)⑧
- 5日(月) 川越見学
- 6日(火) オーストラリアへ帰国

## オーストラリア少年少女親善訪問団



問い合わせ  
学校教育課(内線521  
522)

ご協力ありがとうございました。



- (敬称略・順不同)
- 【ホストファミリー】  
松村浩治・中平真幸・早瀬 慶・抜井尚男・田原和泉・小林陽一・渡辺順高・大館幸喜・林 千郷・高島 篤・駒村 昇・江原俊之・井田和宏
- 【ボランティア】  
森本真奈美・本山結佳・吉田潤子



高齡大学は、町内3公民館にそれぞれ教室があり、シルバード世代の方の学習意欲や生きがい作りを、個々の実りで終わらせず、共に学び合い、協力しあうことで、大きな仲間の輪となり、地域全体の実りとなることを願い、開催しています。

昭和58年の開講以来、多くの方が集い、学び合いながら交流を進めてきました。

公民館が主催する講座形式の学習講座の他に、学生が自主的に運営する自治会での交流事業や、同好の士が集い運営するクラブ活動があり、仲間づくりのための学び合いも活発に行われています。

各教室とも、学生の人生経験や習得した知識を、地域の中で活かすために、小学校や地域イベントなどに参加し地域交流を積極的にを行っています。



## 三芳町高齡大学

### 高齡大学受講生募集

期間 平成22年10月～平成23年2月まで(月2～3回)  
入学資格 町内在住の満60歳以上の人で、10月から2月まで通学可能な人。  
教室・受講日・定員  
・藤久保公民館教室：主に金曜日の午前中、定員14人  
・中央公民館教室：主に金曜日の午前中、定員60人  
・竹間沢公民館教室：主に木曜日の午前中、定員60人

開講式(3教室合同)  
日時 10月8日(金) 午前10時～正午  
場所 藤久保公民館ホール  
申込み 9月7日(火)から申込開始  
※平日の午前9時～午後5時15分までに希望する公民館へ、本人が来館して申込んでください。  
※定員になり次第締切ります。(先着順)  
※電話申込み、代理申込不可  
問い合わせ

藤久保公民館  
☎ 258-0690, FAX 258-9625  
中央公民館  
☎ 258-0050, FAX 258-5466  
竹間沢公民館  
☎ 259-8311, FAX 259-8345



藤久保公民館  
「出会いふれあい学び合い」をテーマに、主に地域交流、生活に身近な内容を学びました。地域の子どもたちとの交流、自治会活動も活発に行われています。



中央公民館  
「明るく楽しくを主眼に仲間作り」をテーマに、音楽講座の成果が見事に咲いた中公フェスタは思い出に残るものとなりました。



竹間沢公民館  
学生活動を通じて小学校・児童館・保育所の地域社会との交流を深め、健康で明るい学生生活を過ごす、第十八期高齡大祭にはサークル団体も参加し、ロビー展示と発表会を行いました。



小学校との交流 年間を通じて隣接する藤久保小学校の児童たちと互いの行事に行き来して交流しています。



健康教室



高齡大祭 一年の授業、クラブ活動の集大成として、発表を行いました。

**図書館だより**

中央図書館 ☎258-6464  
火～金 10:00～19:00 土、日 10:00～18:00  
竹間沢分館 ☎274-1722  
火～日 11:00～18:00



**9月の予定**

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	休	7	8	9	10
12	13	休	14	15	16	17
19	20	休	21	22	23	24
26	27	休	28	29	30	休

＜中央図書館＞  
**ぐりぐりタイム** (絵本・紙芝居・手遊び・本の紹介)  
 第1・3金曜日 (保護者同伴)  
 11:00～11:15 6ヶ月～1歳  
 11:20～11:40 2・3歳～  
 第2・4火曜日 16:00～16:30 3～8歳  
**おはなしサークル**かにかにこそこそ  
 10:00～12:00 大人対象  
 ※昔話を覚えて語る練習をしています。  
**としゃかんくらぶ**  
 (読み聞かせとブックトークの会/小学生向き)  
 ※9月はお休みします

＜竹間沢分館＞  
**竹間沢ぐりぐりタイム** (絵本・紙芝居など)  
 11:00～11:30 1～4歳  
**スイミーおはなし会**  
 (読み聞かせとブックトーク/9月は第3木曜日)  
 16:00～16:30 4歳～小学生

**【地域文庫のお知らせ】**  
 (児童書の貸出、お話し会など)  
**つくし文庫**・9月18日(土)、10:00～12:00  
 場所 上富1区第1集会所にて  
**あらた文庫**・毎火曜日 15:30～18:00  
 場所 荒田自宅にて  
 (藤久保536-4 三芳東中学校近く)



【一般書】「のんのんばあはと」

水木しげる著  
 筑摩書房 一九九〇年七月発行  
 請求記号 B726.3  
 のんのんばあは、著者の少年時代に家に来ていたお手伝いの婆さん。彼女から聞いたお化けや妖怪世界のこと、隣町のガキ大将との攻防戦のことなど、子ども時代の思い出が綴られて



【一般書】「ゲゲゲの女房」全巻は終わりを告げればよし!!」

武良布枝著  
 実業之日本社 二〇〇八年三月発行  
 請求記号 726.3  
 巨人・水木しげると共に歩んできた妻が明かす、「水木サン」の真実。赤貧時代、人気マンガ家時代、妖怪研究者時代、そして幸福とは何かを語る現在。NHKテレビ小説の原作本。



【一般書】「娘に語るお父さんの戦記―南の島の戦争の話―」

水木しげる著  
 社会批評社 一九九四年四月発行  
 請求記号 児童916.3  
 南方の戦地で、はくは主人(つちのひと)から「パウロ」と呼ばれ、島の住人になることを誓った。片腕を失い、奇跡の生還をした水木上等兵が「追真の戦争」を、豊富なイラストとともに語る。



【児童書】「ほんまにオレはアホやろか」

水木しげる著  
 ボブラ社 一九七八年九月発行  
 請求記号 児童726.3  
 わが道を熱心に進めればいつかは、神様が花をもたせてくれる。人にくだらんと言われても、スタートに遅れても、クヨクヨする必要はない。ゲゲゲ先生のおもしろ不思議人生体験記。

健康スポーツライフ

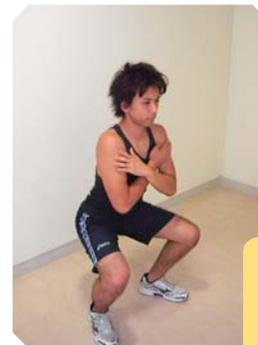
このコーナーでは「スポーツと健康」をテーマに、様々な役立つ情報をみなさんにお届けします。

問い合わせ 総合体育館 ☎258-0311

まだまだ続くこの暑さ……皆さんはどのようにお過ごしでしょうか？今回はこの暑さ乗り越える強靱な体づくり&シェイプアップに効果的な「スクワット」のトレーニングを紹介します。

「スクワット」という種目は下半身のトレーニングです。実施することによって筋力アップはもちろん、柔軟性の向上、冷えの改善にもつながります。1つの種目で多くの運動効果が期待できますので、ぜひやってみましょう。

- ① 両腕を目の前でクロスし、足幅を腰幅に開きます。
- ② 膝の角度が90度になるまでしゃがみ、元に戻ります。



**注意点** 胸をしっかりと張ったまま、膝とつま先が同じ角度のまましゃがみましよう。回数は10～15回を目安に、2～3セット行ないましよう。



教育トピックス

エコを通して三芳町がもっと好きになる! 竹の子エコクラブ

「三芳町の自然のすばらしさを、からだ全体で感じよう! その体験は、三芳町を愛する心となり、三芳町の環境を守ろうとする主体的な行動となる!」  
 そんな想いを抱いて、三芳町の自然の中で活動しているクラブ。それが「竹の子エコクラブ」です。今年度は、小学生43人・サポーター(大人)22人の計65人で活動しています。活動内容は、子どもたちが話し合って決定します。低、中学年の素直な意見を、高学年が「それは良い考えだけど、家族で取り組んだほうがいい活動だね。」などとアドバイスしながら、より価値のある活動へと高めていきます。子どもたちの主体的な活動にしたいという願いがあるからです。大人は、安全面等を中心に助言するだけです。  
 今年度は、「みどりのカーペットにチャレンジしよう!」「ゴミ拾いをしよう!」「交鳥を親よう!」等の活動に取り組むことが決定しました。  
 5月に行われた「ぶしの里へ行く」の活動では、「森のビンゴゲー

ム」を通して、「ぶしの里の生き物の多様性を近感しました。草や木に顔を近づけて、葉っぱを裏返したりして生き物を探しました。同じように見えても、よく見ると、それぞれ全く違う葉の形に驚いたりもしました。「見たことないものばかりだ」「運つ季節にも来た、どんな変化があるのかな。」  
 たくさんの発見に満足し、そして、また新たな知的好奇心が生まれました。  
 「ヤゴとりをしよう」は、ひざまで水を抜いた小学校のプールでの活動です。  
 「うわあ、ぬるぬるしているよ。気持ち悪い。」「コケみたいなものが、いっぱい生えているよ。」「はじめてのうちは、そんなことを言っていた子どもたちも、ヤゴを見て、次第に目を輝かせ始めました。100匹を超えるヤゴのほかアメンボ、ミズスマシ、カマキリを捕まえました。プールという池がたたくさんの命を育てていたことを実感しました。  
 捕まえたヤゴは大切に育てられました。そして、トンボの羽化を目の当たりにし、子どもたちは、命の不思議さ、美しさ



わー葉っぱの形が違うんだ!

技の文化財

第8回 畳屋

さわさわと掃くや土用の青畳

日野 翠城  
 イグサの香り立つ新しい畳は、何とも言えず心地の良いものです。以前は俳句にあるように、夏の土用の頃に畳を庭先で干して湿気を取り、傷んできた畳を替えて使っていました。近年、住宅の洋風化に伴い和室が減り、畳は多様な形に変化しています。作業は機械縫いが多くなり、昔ながらの手縫い作業を行う職人は少なくなりました。北水井の染野さんは、今でも手縫いの畳作りをする職人さんのうちの一人です。  
 染野さんは、中学卒業後に長壽から上京して東京都太田区の畳職人のもとで5年間修業しました。畳を縫う作業は、肘を当てながら糸を締めるので相当な力がある作業です。修行時代は、肘をすりむきながら縫って覚え、雨で仕事ができないうちはゴザを縫い、休みなく修行に励んだと言います。修行が終わると職人として渡り歩き、その後、昭和五十五年に三芳に店を構えました。店を構えた頃は、好景気に支えられて毎晩遅くまで仕事が続いたと言います。「あの頃、人に手を見せて欲しいと言われて見たところ、タコでつかうとした手を見て「これは手かっこつ」とからかわれたよ。足にでも見せるかいと言ったけどね。」



▲太い畳針を使い、肘で糸を締める。厚い畳床にまっすぐ縫う作業は、熟練の技です。